

保険会社の経済価値ベースリスク管理 における理論と実践

2015年6月17日（水）開講、全6回

OTC クオンツスクール

概要

保険会社においては、昨今経済価値ベースでのリスク管理(ERM)が求められるようになってきました。ここでいうリスク管理は単なる健全性確保のためだけではなく、どのようなリスクをどの程度取るかという、経営のリスクに関する戦略（リスク選好）を決定し、企業価値を拡大するために行われる一連のプロセスのことを指しています。

規制上もそうした流れを後押ししていることに加え、各保険会社においても自発的にそうした取り組みを推進しているケースが多く見られるようになってきました。

本セミナーでは、こうしたリスク管理において必要となる基本的概念、特に保険負債価値評価に関連する数理的な理論、さらには実務的なリスク計測技法や考え方について一通り学ぶことを目標としています。

さらに、経済価値ベースのリスク管理によく見られる「課題・障壁」についても検討を加え、その解決に向けた考察なども行っていくこととしています。

セミナー対象者

- 保険会社でリスク管理・ERMを業務とされている方
- 保険会社の内部監査としてリスク管理・ERMに携わる方
- 監査法人等において保険会社のリスク管理・ERMに業務上関連される方
- 保険会社のリスク管理・ERMに興味・関心がある方

講義日程

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
6/23 (水)	7/1 (水)	7/15 (水)	7/22 (水)	7/29 (水)	8/5 (水)

原則毎週水曜日ですが、7月8日(水)は講義はありません

時間：18:00 – 21:00

会場：JAビル カンファレンス 401B

定員：25名（申し込み人数が定員になった時点で締め切らせていただきます）

担当講師

森本祐司（キャピタスコンサルティング株式会社 代表取締役）

キャピタスコンサルティング株式会社 代表取締役。東京海上火災保険（現東京海上日動火災保険）にて資産配分、ALM、リスク管理等の業務に従事。1998 年には日本銀行金融研究所において研究員として金融工学関連の研究を行う。その後複数の外資系投資銀行にて、リスク管理、ALM に関するアドバイス提供を行い、2007 年 1 月にキャピタスコンサルティングを共同設立。

東京大学大学院経済学研究科非常勤講師、東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科客員教授等も務める。東京大学理学部数学科卒業、マサチューセッツ工科大学 MBA。日本アクチュアリー会準会員、日本証券アナリスト協会検定会員。日本保険・年金リスク学会理事。国際アクチュアリー会 ASTIN 委員。東京リスクマネジャー懇談会共同代表。

受講料

220,000円（税込） 開講日の1週間前（6/16）までにお申し込みの場合

230,000円（税込） それ以降にお申し込みの場合

回ごとの受講もできます。1回につき40,000円（税込）

学生割引：フルタイムの学生は50%の受講料で受講できます。ただし、申込みの優先順位は後回しになります。

お申込み

OTC クオンツスクールのホームページ <http://www.divainvest.jp> から申し込んでください。

第1回 リスク管理概要および価値評価の基礎

- ・リスクとは
- ・リスク管理とは
- ・経済価値ベースでのリスク・資本の考え方
- ・金融商品の価値とは
- ・無リスク金利の基礎
- ・伝統的保険数理の考え方

第2回 保険商品の価値評価（1）

- ・経済価値評価の導入
- ・保険商品に内在するフォワード性について
- ・経済価値ベース責任準備金の推移
- ・責任準備金の金利リスクとヘッジの考え方
- ・金利の補外について

第2回 保険商品の価値評価（2）

- ・オプション・保証の評価
- ・リスク・マージンの考え方
- ・保険料算出原理について
- ・昨今のリスク・マージン導出手法

第4回 リスク計測技法と論点

- ・一般に用いられているリスク計測技法
- ・実務的な課題
- ・不可避な金利リスクをどう捉えるか
- ・ソルベンシーⅡに見るリスク計測上の課題（損失吸収効果等）

第5回 リスク管理を巡る規制の流れ

- ・国際的な保険規制の流れ
- ・国内保険規制の流れ
- ・求められる ERM とは
- ・ORSA について

第6回 目指すべきリスク管理と課題の克服

- ・目指すべきリスク管理とは
リスク管理サイクル
リスク管理と経営の意思決定
- ・リスク管理の課題とその克服に向けて
経済価値で考えることの意義
リスク管理＝経営と捉えられるか
- ・リスク管理の心構え